



〈自分（たち）でつくるみんなの学校 ～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子

学校だより 令和5年度No.1 1

出会いに感謝

第6学年担任 屋敷 涼香

人生には、たくさんの出会いがあります。そして、時として、人生を変える大きなきっかけにもなります。

私は、子供の頃、ピアノを弾くことが大好きで、当時の夢はピアニストでした。それから、ピアノに関わらず楽器を演奏することや、音楽を聴くことが大好きでした。音楽が、欠かすことのできない生活の一部となり、将来、音楽に関わる職業に就きたいと考えていました。

中学生の頃、「社会に学ぶ14歳の挑戦」で、保育士の仕事を体験しました。先生のオルガン伴奏に合わせて、子供たちが体いっぱい表現したり、笑顔になったりする姿に、喜びを感じました。先生や園児たちとの出会いがきっかけで、保育士という職業に興味をもち、将来の選択肢の一つとなりました。

高校では、2人の恩師に出会いました。一人は、担任してくださった先生です。先生に夢を語ると、私の思いを汲み取り、様々な進路を提案してくださいました。また、保育士だけでなく、音楽の学習として、子供たちと活動することができる、教師という選択肢もあると、アドバイスをいただきました。将来への視野が、また広がったのです。もう一人は、数学の先生で、数学が苦手だった私に、親身になって教えてくださいました。先生の教え方は本当に分かりやすく、問題が解けた時には、一緒に喜んでくださいました。私は、先生のおかげで苦手を克服し、教師となった今、子供たちと算数の学習をすることが大好きです。

高校時代には、私が小学生の時にお世話になった、学童保育の指導員の方に声をかけていただき、夏休みに学童保育の手伝いをするようになりました。子供たちの学習支援をする際、教えるのではなく、解き方のヒントを出すよう心がけてやってみると、「できた！」という子供の嬉しそうな声を聞くことができ、自分も嬉しくなりました。学童保育の指導員の方々、子供たちとの出会いの中で、私は、教えることのやりがいや、喜びを感じ、小学校の教師になりたいという思いをもちました。

私の人生のターニングポイントには、人との出会いがありました。これまでの人との出会いがなければ、私は、教師として、ここにはいなかったかもしれないと考え、人との出会いの大切さを強く感じます。これまで、自分と関わってくださった人たちに感謝し、これからも出会いを大切にしていきたいです。

現在6年生を担当している私は、彼らが3年生の時にも担任をさせていただきました。その時から現在までの成長、最高学年としての1年間の成長を感じ、子供たちと共に学ぶ毎日に感謝しています。

子供たちには、出会えた喜びや、感謝の気持ちを伝えたいと思います。また、子供たちが、これまでお世話になった方々に、精いっぱいの「ありがとう」を伝えられるよう、卒業までの残り1か月、サポートしていきます。そして、これからの出会いを大切にしていきたいです。



<6年間ありがとう これからもよろしくね集会>